

1 学習目標

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活の中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする事ができる。
- 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習内容と学習のねらい

学期	単元名（主な学習内容）	学習のねらい
1 学期	言葉に出会うために 野原はうたう（詩） 1 学びをひらく ・シンシュン（物語） ・漢字①	・それぞれの詩に描かれた世界を読み取り、音読する。 ・登場人物の行動から気持ちの変化を読み取る。 ・主な部首の名称と成り立ちを踏まえて理解する。
	2 新しい視点で ・ダイコンは大きな根？（説明文） ・ちょっと立ち止まって（説明文） ・文法への扉①	・段落の役割に着目して内容を的確に読み取る。 ・話し言葉と書き言葉の違いを日常の言語生活から考える。 ・「文」「文節」「単語」など、言葉の単位について理解する。
	硬筆	・硬筆ペンを用いて、縦書きの特徴を生かした文字を書く。
	3 言葉に立ち止まる ・詩の世界（詩・解説文） ・比喩で広がる言葉の世界（説明文） ・言葉①	・詩の言葉の豊かさに触れ、ものの見方や感じ方を広げる。 ・比喩について理解し、言葉についての考えを深める。 ・「文」「文節」「単語」など、言葉の単位について理解する。
	読書生活を豊かに	・読書紹介を通して情報の読み取り方を学習する。
2 学期	4 心の動き ・大人になれなかった弟たちに（物語） ・星の花が降るころに（小説） ・漢字② ・言葉②	・場面展開や情景描写などに注意して読み、登場人物の気持ちの変化を読み取る。 ・表現に込められた、登場人物の心情や作者の思いを読み取る。 ・漢字の歴史をふまえ音と訓の成り立ちを理解する。 ・共通語と方言の果たす役割について理解する。
	5 筋道を立てて ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（記録） ・大阿蘇（詩）	・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
	6 いにしへの心にふれる ・いろは歌（古文） ・古典の世界（古典・解説文） ・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から― ・今に生きる言葉（漢文）	・古典の文章に出会い、古典特有のリズムを味わう。 ・語句の意味や古文の表現の特徴に注意して物語の展開、あらすじを理解する。 ・故事成語とは、どのような言葉かを理解し、どんな由来があるのかを知る。 ・「故事成語」が自分たちの生活に生き続けていることを確認する。
	7 価値を見いだす ・「不便」の価値を見つめ直す（意見） ・文法への扉②	・必要な情報を取り出し、結び付けてようやくする。自分の考えを持つ。 ・「主語・述語」「修飾・被修飾」などの関係について理解する。
	書き初め 読書に親しむ「桜守三代」	・毛筆を用い、行書の文字を正しく丁寧に書く。 ・文章に表れたものの見方から、自分のものの見方や考えを広げる。
3 学期	8 自分を見つめる ・少年の日の思い出（小説） ・文法への扉③ ・随筆二編（随筆） ・言葉③ ・漢字③ ・さくらの はなびら（詩）	・登場人物のものの見方、感じ方、生き方について自分の考えを持つ。 ・単語の類別について理解する。 ・事物や情感を表す語句や表現に着目して読み、筆者の思いを捉える。 ・さまざまな表現技法を理解し、生活の中で表現する力を養う。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・表現技法の種類と効果を理解して、詩を読む。

3 評価の観点と方法（①～③の観点を総合的に判断して評価します。）

	① 主体的に学習に取り組む態度	② 知識・技能	③ 思考力・判断力・表現力
評価の方法	・授業の取り組みの様子 ・課題への取り組みの様子や提出状況	・定期テスト ・漢字スキル テスト ・硬筆、書きぞめの作品 ・課題の取り組み内容	・発表やスピーチの内容や理解 ・聞き取りテスト ・定期テスト ・作文 ・ノートの記述内容

<p><b>1 学習目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会で生活するために必要な国語の知識や技能を身に着けよう。</li> <li>○文章を読み、筋道を立てて考える力や共感したり想像したりする力を身に着けよう。</li> <li>○伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ、深めよう。</li> <li>○言葉の価値を認識し、読書や言語学習を大切にして、思いや考えを伝えようとする態度を身に着けよう。</li> </ul>
---

**2 学習内容と学習のねらい**

学期	単元名（主な学習内容）	学習のねらい
1学期	見えないだけ（詩） <b>1 広がる学びへ</b> ・アイスプラネット（小説） ・枕草子（古文） ・漢字①	・1つ1つの語句に着目し、作者の思いを捉える。  ・登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。 ・昔の人のものの見方、感じ方にふれ、感性を豊かにする。 ・熟語の構成について理解する。
	<b>2 多様な視点から</b> ・クマゼミ増加の原因を探る（報告） ・文法への扉①	・文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。 ・自立語と付属語、活用の有無について理解する。
	<b>硬筆</b>	・硬筆ペンを用いて、横書きの特徴を生かした文字を書く。
	<b>3 言葉と向き合う</b> ・短歌に親しむ（短歌・解説） ・短歌を味わう（短歌） ・言葉の力（随筆） ・言葉①	・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・歌われている情景や作者の思いを想像しながら読み、感じたことを話し合う。 ・文章を読み、知識や経験と結び付けて考えたことを伝え合う。 ・対義語や類義語、多義語の意味や用法に注意する。
	<b>読書生活を豊かに</b>	・読書紹介を通して情報の読み取り方を学習する。
2学期	<b>4 人間のきずな</b> ・盆土産（小説） ・字のない葉書（随筆） ・言葉② ・漢字②	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考える。 ・文章の構成や、人物や出来事を語るときの表現から、筆者の思いを考える。 ・敬語の種類や特徴について理解する。 ・同訓異字や同音異義語などの意味、用法を理解する。
	<b>5 論理を捉えて</b> ・モアイは語る—地球の未来（論説） ・月夜の浜辺（詩）	・意見を裏付けるための適切な根拠のあり方について理解する。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。
	<b>6 いにしへの心を訪ねる</b> ・平家物語（古文・音読） ・扇の的—「平家物語」から（古文） ・仁和寺にある法師—「徒然草」から（古文） ・漢詩の風景（漢詩・解説）	・文語文の表現に慣れ、特徴をつかんで読み味わう。 ・登場人物の言動の意味を考え、そこに表れたものの見方や考え方を捉える。 ・登場人物の行動に着目し、作者のものの見方や考え方について考える。 ・漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。
	<b>7 価値を語る</b> ・君は「最後の晩餐」を知っているか（評論） ・文法への扉②	・文章に含まれる情報を寒天ごとに整理し、比較する。 ・自立語について理解する。
	書き初め <b>読書に親しむ「研究の現場ようこそ」</b>	・毛筆を用い、行書の文字を正しく丁寧に書く。 ・文章に表れたものの見方から、自分のものの見方や考えを広げる。
3学期	<b>8 表現を見つめる</b> ・走れメロス（小説） ・文法への扉③ ・言葉③ ・漢字③ ・木（詩）	・登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。 ・付属語について理解する。 ・話し言葉と書き言葉について理解する。 ・送り仮名のつけ方の原則を理解する。 ・抽象的な概念を表す言葉などに着目して詩を読む。

**3 評価の観点と方法**（①～③の観点を総合的に判断して評価します。）

	① 主体的に学習に取り組む態度	② 知識・技能	③ 思考力・判断力・表現力
評価の方法	・授業の取り組みの様子 ・課題への取り組みの様子や提出状況	・定期テスト ・漢字スキルテスト ・硬筆、書きぞめの作品 ・課題の取り組み内容	・発表やスピーチの内容や理解 ・聞き取りテスト ・定期テスト ・作文 ・ノートの記述内容

- 1 学習目標**
- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
  - 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活の中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
  - 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

**2 学習内容と学習のねらい**

学期	単元名（主な学習内容）	学習のねらい
1 学期	世界はうつくしいと <b>1 深まる学びへ</b> ・握手（小説） ・学びて時に之を習ふ（漢文） ・漢字①「熟語の読み方」	・詩に込められた作者の思いを読み取る。  ・言葉やエピソードから人物像をとらえ、内容を理解する。 ・漢文の特徴を理解し、論語の考え方を理解する。 ・熟語の読み方を知り、文章中で使えるようにする。
	<b>2 視野を広げて</b> ・作られた「物語」を超えて（論説） ・文法への扉①	・文脈の中での語句や図の使い方などに注意して読み、筆者の論理の展開のしかたを捉える。 ・文の成分の順序や構成などについて理解を深める。
	<b>硬筆</b> <b>3 言葉とともに</b> ・俳句の可能性（俳句） ・俳句を味わう（俳句） ・言語①「和語・漢語・外来語」	・硬筆ペンを用いて、行書の特徴を生かした文字を書く。  ・筆者のものの見方、感じ方、表現の仕方を読み味わい俳句の世界に親しむ。 ・それぞれの俳句に表現されている季節や情景作者の思いを捉え、朗読する。 ・和語、漢語、外来語について理解する。
2 学期	<b>4 状況の中で</b> ・挨拶—原爆の写真によせて（詩） ・故郷（小説） ・言葉② ・漢字②	・詩に表現されている内容と、現実の世界の在り方とを対応させながら読む。 ・情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・慣用句、ことわざ、故事成語の特徴や性質を知る。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにする。
	<b>5 自らの考えを</b> ・人工知能との未来（論説） ・人間と人工知能と創造性（論説） ・初恋（詩）	・情報の信頼性を確かめながら読む。 ・文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について自分の意見をもつ。 ・詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫を捉える。
	<b>6 いにしへの心を受け継ぐ</b> ・古今和歌集 仮名序（古文） ・君待つと一万葉・古今・新古今（古文） ・夏草—「おくのほそ道」から（古文）	・朗読を通して古文のリズムや響きを味わう。 ・和歌に表れた昔の人の心情や情景を読み取る。 ・文語文の表現の仕方や文体の特徴に注意して読み味わう。
3 学期	<b>書き初め</b>	・毛筆を用い、行書の特徴を生かした文字を書く。
	<b>7 価値を生み出す</b> ・誰かの代わりに（論説） ・漢字③ ・文法への扉②	・現代社会の可能性や困難について考え、意見を持つ。 ・三年間を学んだ漢字を復習し、身に付ける。 ・品詞の見分け方を理解する。
	<b>8 未来へ向かって</b> ・温かいスープ（随筆） ・わたしを束ねないで（詩） ・三年間の学びを振り返ろう	・文章を読み、国際社会における人と人との関係について考えを深める。 ・詩のリズムを味わい朗読する。 ・三年間の学びを振り返り、自分の考えを深めて文章にまとめる。

**3 評価の観点と方法**（①～⑤の観点を総合的に判断して評定を出します。）

	① 主体的に学習に取り組む態度	② 知識・技能	③ 思考力・判断力・表現力
評価の方法	・授業の取り組みの様子 ・課題への取り組みの様子や提出状況	・定期テスト ・漢字スキル テスト ・硬筆、書きぞめの作品 ・課題の取り組み内容	・発表やスピーチの内容や理解 ・聞き取りテスト ・定期テスト ・作文 ・ノートの記述内容